

IP ブロードバンドルータユニットのローカルバージョンアップ手順書

IP ブロードバンドルータユニット(以下、BRU という)のプログラムバージョンアップ手順を示します。ここでは、NXSM-4BRU をV1.0.0.0 からV6.0.0.0 へバージョンアップする場合を例として示しています。参考の画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

1. 準備

当社のホームページ(Web116:バージョンアップ情報)から、ご利用のシステムに合った最新のプログラムファイルをパソコンにダウンロードします。

Web116.jp:バージョンアップ情報

URL : <http://web116.jp/ced/support/version/>

<対象機種>

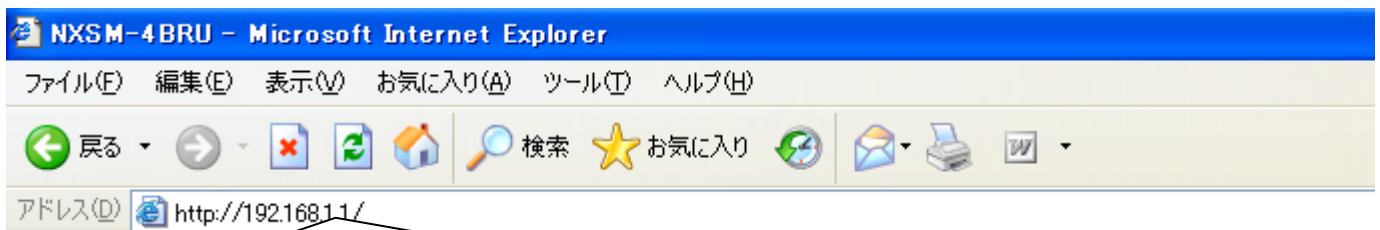
Netcommunity SYSTEM αNX typeS /typeM用IPブロードバンドルータユニット

<最新ファイル名>

ファイル名 nxsm4bru-appV6000.bin ファイルサイズ:約3.5MB

パソコンをLAN ケーブルで本商品に接続します。

2. ブラウザを起動して、本商品にログインします。



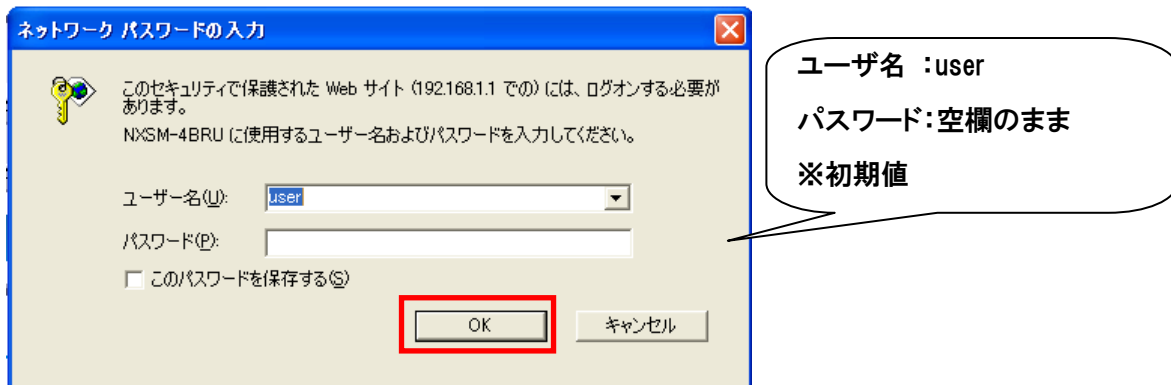
初期値:「192.168.1.1」

※IPアドレスを入れてもエラーになる場合は、システム管理者へご確認願います。

ブラウザソフトの「アドレス」に本商品のIP アドレス(初期値は192.168.1.1)を入力し、【Enter】キーを押します。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

<ログイン時の画面>



ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。

ユーザ名に「user(初期値)」、パスワードは「空欄のまま(初期値)」を入力します。

【OK】ボタンをクリックします。

3. プログラムバージョンアップを実施します。

ログイン後メインメニューが表示されます。

「Version」が最新でないこと(V1.0.0.0であること)を確認してください。

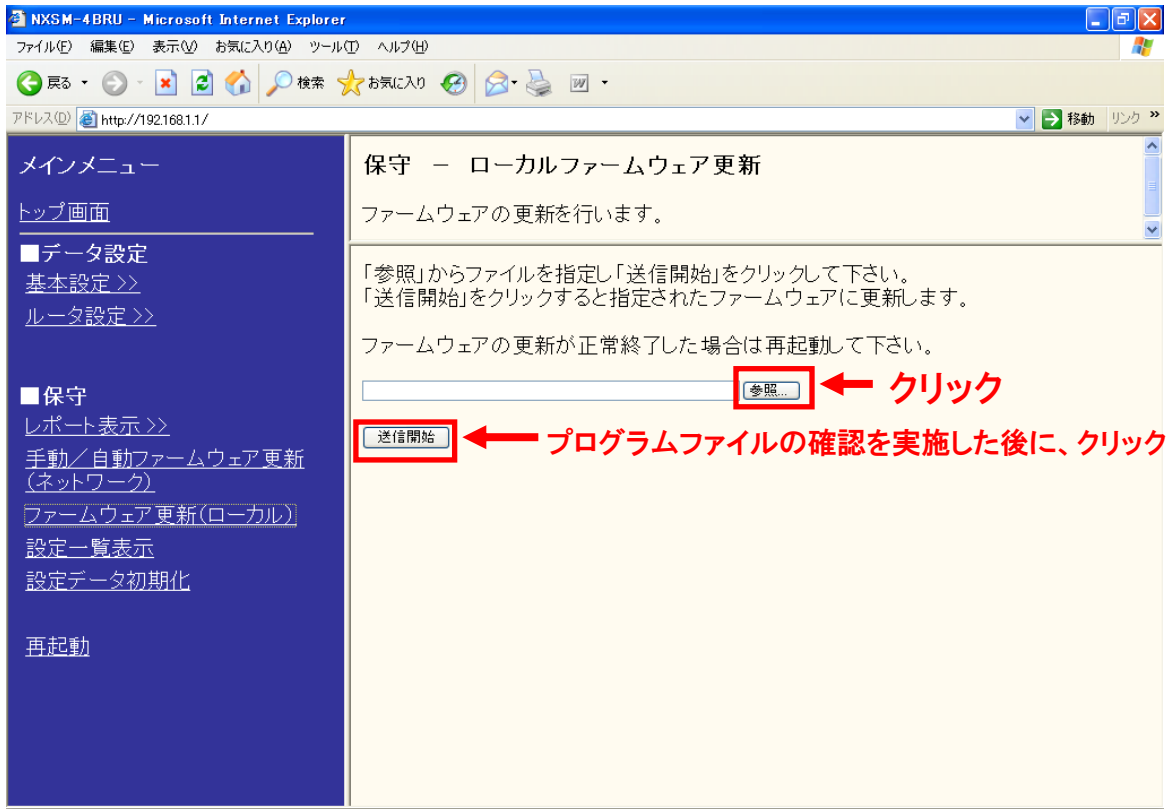
【ファームウェア更新(ローカル)】をクリックします。

Version	V 1.0.0.0
MAC Address (LAN)	00:20:c1:13:0e:b3
MAC Address (WAN)	00:20:c1:13:0e:b2

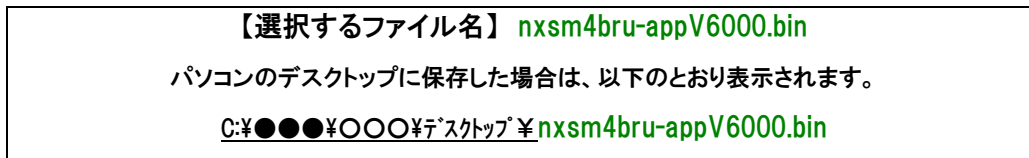
- 各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず「設定保存」をクリックして下さい。
- 「設定保存」をクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 「設定保存」クリック、「設定データ初期化」「設定データアップロード」実施後は、再起動を行うことにより、保存されたデータが有効になります。
- ログを保存する場合は「ログ表示」から「保存」を行ってください。「設定保存」では保存されません。
- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

4.ファームウェアの更新を行います。

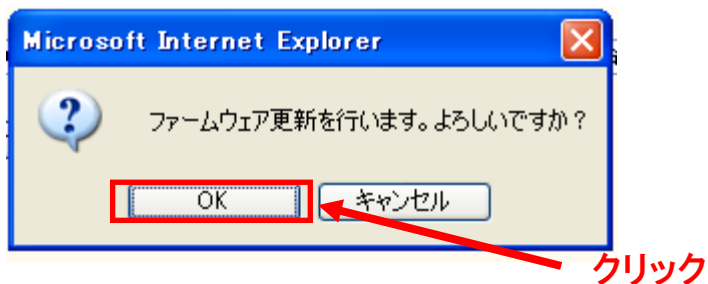


【参照…】ボタンをクリックし、弊社ホームページからダウンロードした最新プログラムファイルを選択します。



選択したプログラムファイルが表示されます。

表示されたファイルがダウンロードしたファイルであることを確認し、【送信開始】ボタンをクリックします。



【OK】ボタンをクリックします。

(ファームウェアを更新しています。)が表示されます。

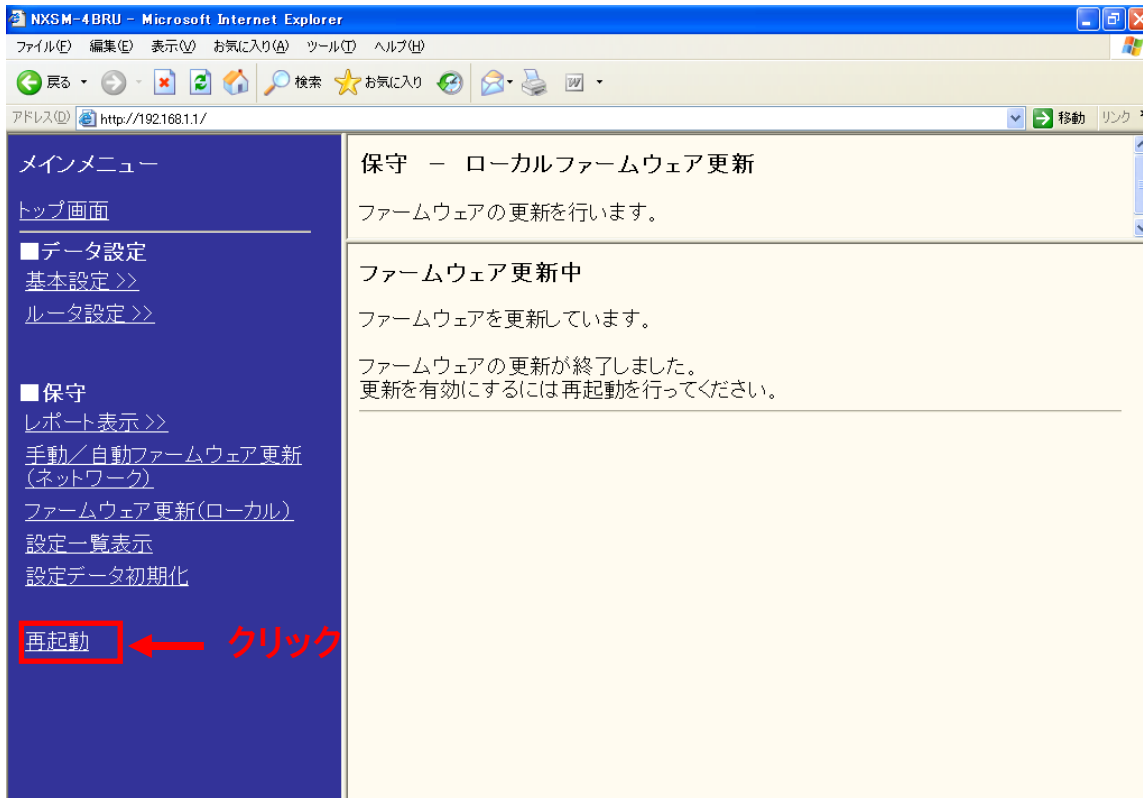
<注意>

プログラムファイルの送信は、約1分～2分程度要します。

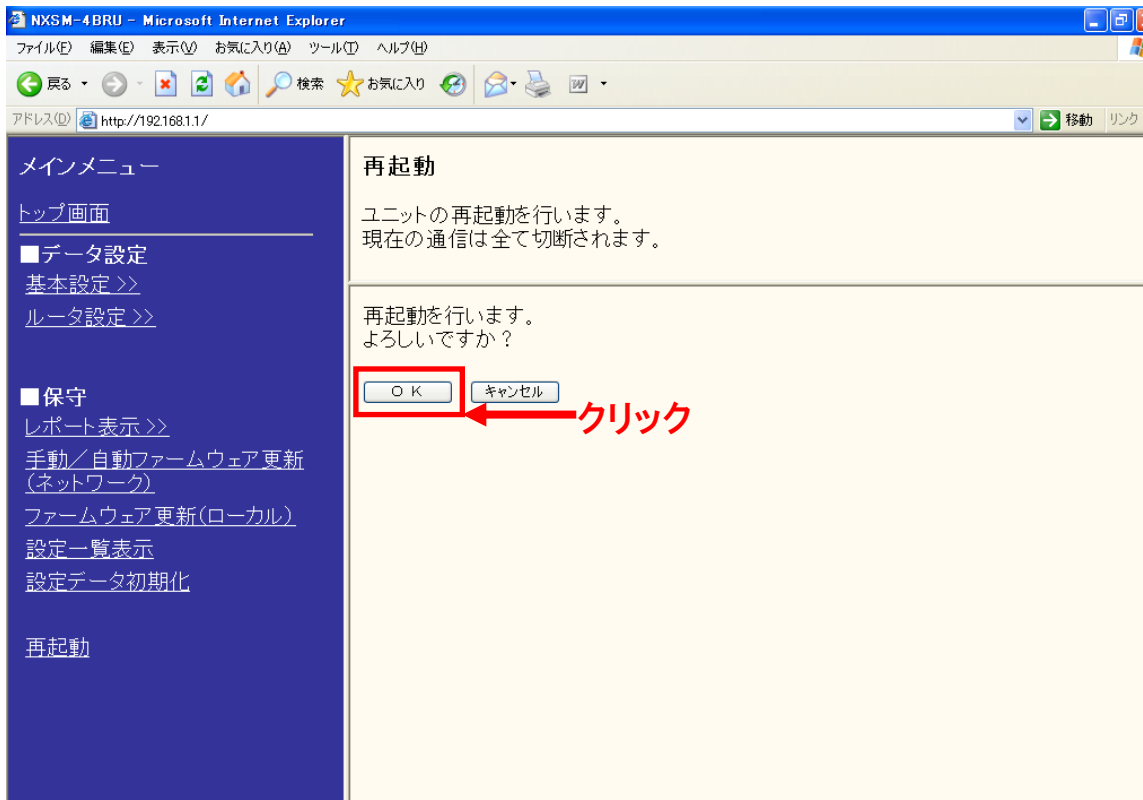
この間、起動中のブラウザ操作等を行なわないようにして下さい。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

5.IPブロードバンドルータユニットの再起動の実施。

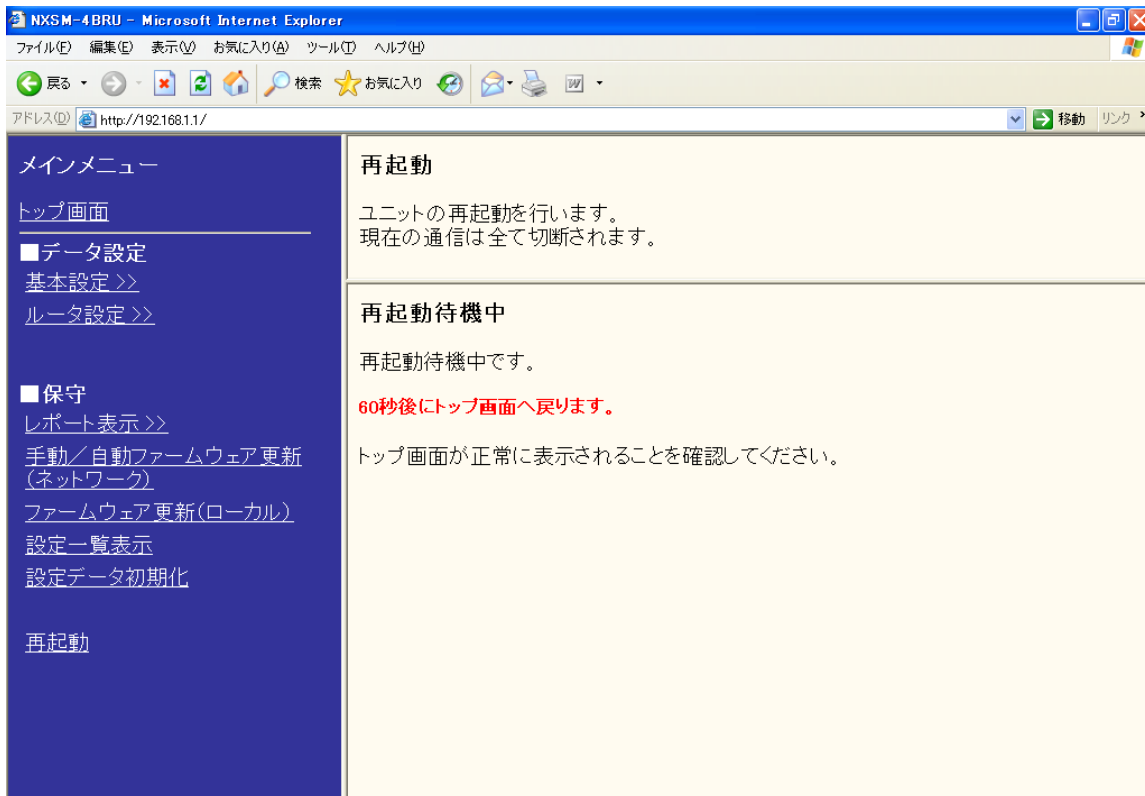


【再起動】ボタンをクリックします。



【OK】をクリックします。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

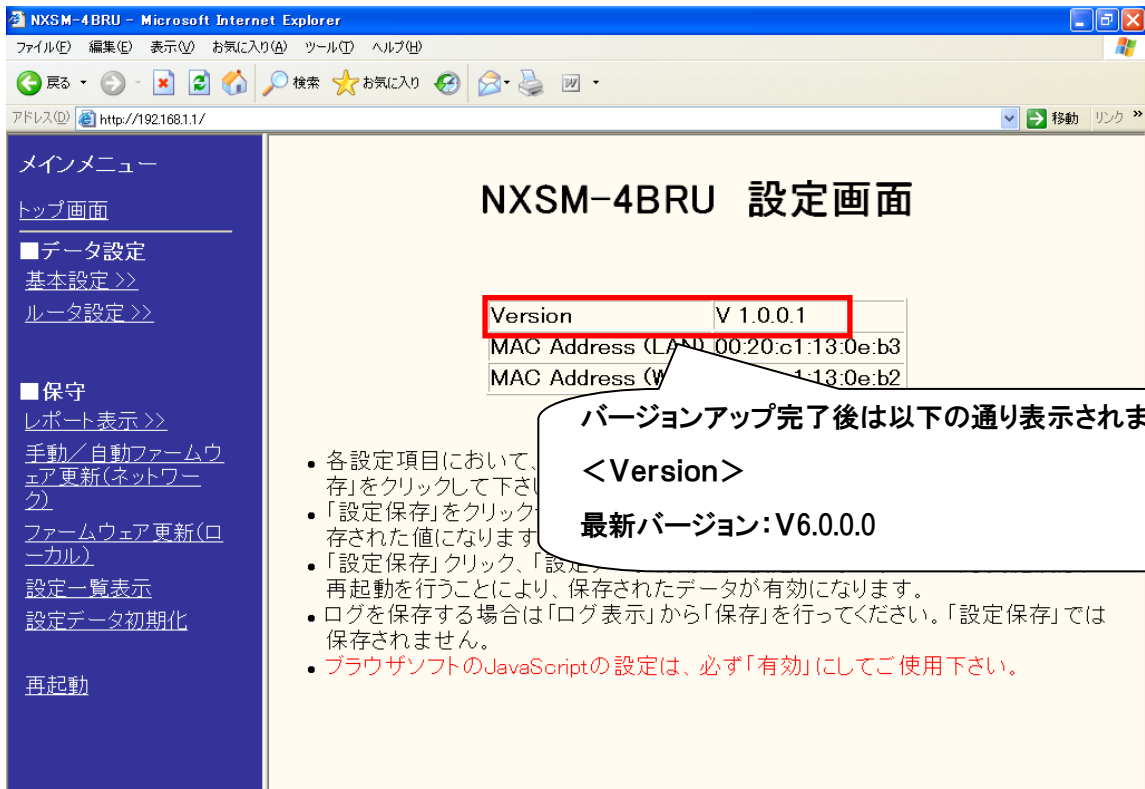


再起動中です。そのままお待ちください。

<注意>

再起動には、約60秒程度要します。この間、起動中のブラウザ操作等は行なわないようにして下さい。

再起動後は、自動的にメインメニューの画面に戻ります。



メインメニューで最新のバージョンに更新されたことを確認して下さい。

以上でバージョンアップは完了です。